

モットー「楽しき中にも規律あり」 トップより先に歩かない。間隔を開けない。アンカーより後にならない。

一般組

2016年 2月 2日

各位

松愛会 兵庫東歩こう会

第228回例会「新多田銀山」 ご案内

多田銀山は、2005年6月に歩いています。今回、多田銀山そのものは同じですが、東光寺、屏風岩を通り道の駅いながわを訪れます。休憩後峠越えで(標高差110m)多田銀山に入ります。解散は阪急バス杉生線の白金町になり、バスは阪急電車 川西能勢口駅に着きます。新芽がいっぱいの猪名川路を楽しんでください。

記

集合日時：2016年 **3月15日(火)** **10時00分** 受付開始：9:30

集合場所：能勢電車 日生線「**日生中央駅**」 駅前広場(南側)

雨天対応：気象庁のホームページ(URL：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) または NTT の天気予報(078+177)で、**兵庫県南部**の例会前日の**17時**に発表される、翌日の予報で**06-12時**、**12-18時**のいずれかの降水確率が**50%以上**のときは中止とします。

コース：能勢電 日生中央駅=紫合(ゆうだ)BS(90m)~東光寺~屏風岩~いながわ道の駅(110m)~峠(220m)~村上中池(180m)~間歩(まぶ)~金山彦神社~悠久館(130m)~白銀2丁目BS(解散)=川西BT
歩行距離：8.4km、所用時間：4h55min、標高差：130m 難易度：★★★
コースは年間計画より大幅変更をしています。

服装：長袖シャツ、長ズボン、手袋、帽子、ハイカットの靴の方が良い、ストック(あった方が良い)

持参物：**弁当**、おやつ、飲料水、敷物、タオル、雨具、

難易度：★が増えています。

お願い：1.昼食が遅くなります(12:45ころ)、**間食(おやつ)**をお持ちください。

2.道の駅から峠まで、階段が続きます(1km弱)ストックがあった方が登りやすいです。

3.道の駅を出て、悠久館までトイレがありません(昼食を挟んで約2時間15分)、コーヒとか利尿作用のある飲物はひかえてください。

費用：**500円**(参加費)、日生中央~紫合 間 バス賃(160円)：個人負担

保険：歩こう会で発生した事故については会として一切責任は負えません。各自の責任のもとに対応をお考えください。万一のことを考えまして団体傷害保険には加入しています。

電車案内：阪急電車→能勢電鉄

	宝塚線			能勢電 日生線			宝塚線		
	梅田	十三	川西能勢口	山下	日生中央	宝塚	川西能勢口		
急行宝塚行	8:47	8:51	9:10	9:13	9:30	9:34	8:51	9:04	
急行宝塚行	8:57	9:00	9:19	9:23	9:40	9:44	9:47	8:58	9:11

みどころ

多田銀山：多田銀銅山は、川辺郡猪名川町を中心に箕面・池田・宝塚・川西・豊能・能勢にまたがる東西 20 ㌔、南北 25 ㌔の広大な鉱山地帯です。この鉱脈にそって、約 2,000 の間歩(まぶ=坑道)がありました。東大寺の大仏建立(749年)の際に使用された銅の一部は、多田銀銅山の間歩から産出したものだと伝えられています。この広範囲にわたる鉱床地帯の中で、特に品位の高い銀を有する鉱脈が発見された地域が猪名川町銀山で、一般にいう「多田銀山」とはこの限定された一部の地域を指します。天禄年間(970年頃)から本格的に発掘が始まり、昭和48年の閉山まで続いた、一千有余年の歴史ある鉱山です。

連絡事項：**コース途中からの参加、途中からの帰宅、コースを外れた個人行動は一切お断りします。**

受け付け：当日、現地での参加の受付、参加費をいただきます。

【問合せ先】 甲斐、栩野